

# 兵 医 広 報

2018  
SUMMER  
vol. 243



特集1 数字で読み解く兵医

特集2 新家理事長が「旭日重光章」を受章

# 兵 医

みなさんは、西宮市・神戸市・篠山市にキャンパスを有する本法人の組織についてどれくらい知っていますか？今号は、それぞれの施設の特徴がひと目で分かるデータを集めました。みなさんの知らない兵医が見えてくるかも。

## DATA ▶▶ 兵庫医科大学

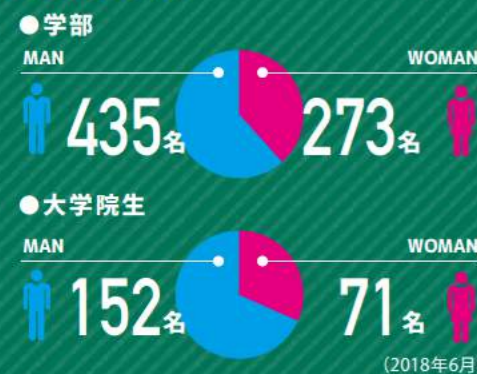
THE世界大学ランキング  
日本版2018  
〈教育リソース分野〉

全国 **7** 位!  
私立大学 **1** 位!  
(THE: イギリスの高等教育情報誌「Times Higher Education」)

教員1人あたりの学生数



学生人数



入試倍率 (2018年度)

約 **27** 倍  
定員112名  
志願者延べ2,991名

入試現役入学者 (2018年度)



医師国家試験合格率  
(2017年度)

全国**3**位!

**97.5** %

教員1人あたりの科研費

全国**10**位!

朝日新聞出版「大学ランキング2019」  
(大学設立1966～1980年部門)より

**1,064,655** 円  
(2017年10月)

論文引用度指数  
免疫学分野

全国**10**位!

朝日新聞出版「大学ランキング2019」より

**94** 本

文部科学省  
戦略的研究基盤形成支援事業  
医学系研究事業採択事業数

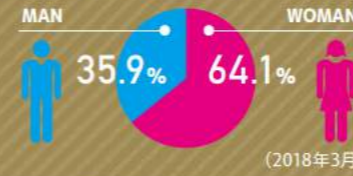
全国**3**位!

**11** 件  
(2008～2015年度)

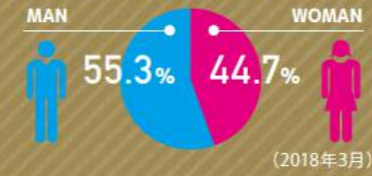
## DATA ▶▶ 学校法人 兵庫医科大学

教職員の男女比率

(看護職員を除くと 50.1:49.9)



教職員の管理職・  
監督職の男女比率

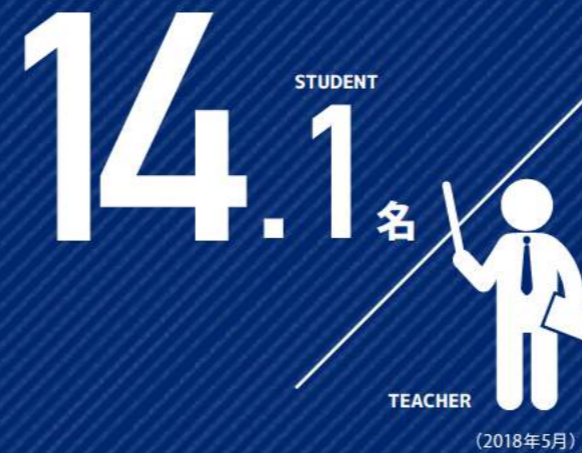


育児休業取得 (過去5年間)



## DATA ▶▶ 兵庫医療大学

教員1人あたりの学生数



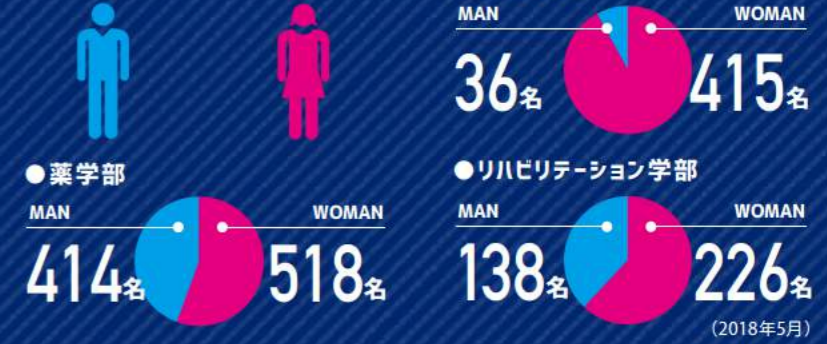
看護師・助産師・理学療法士  
国家試験合格率  
(2017年度)

**100** %

地元(兵庫県)出身者占有率  
(2018年度入学者)



学生数



入試倍率  
(2018年度)

- 看護学部 約**13.5**倍  
(定員100名/志願者延べ1,351名)
- リハビリテーション学部
  - ・理学療法学科 約**11.7**倍  
(定員40名/志願者延べ467名)
  - ・作業療法学科 約**4.7**倍  
(定員40名/志願者延べ186名)
- 薬学部 約**4.8**倍  
(定員150名/志願者延べ716名)

文部科学省 改革総合支援事業  
(補助金)採択数

**4** タイプ  
(全5タイプ中)

- 採択プログラム
  - ・タイプ1 教育の質的転換
  - ・タイプ2 地域発展
  - ・タイプ3 産業界・他大学等との連携
  - ・タイプ5 プラットフォーム形成  
(2017年度)

教員1人あたりの科研費

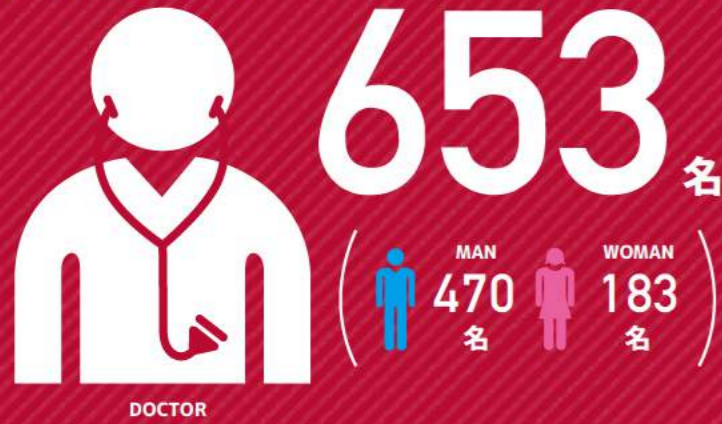
全国**9**位!

朝日新聞出版「大学ランキング2019」  
(大学設立2001～2017年部門)より

**573,182** 円  
(2017年10月)

DATA ▶▶ 兵庫医科大学病院

医師・歯科医師



看護師 (助産師含む)



薬剤師



臨床検査技師



- 診療放射線技師 55名
- 理学療法士 35名
- 作業療法士 13名
- 女性部長 5名  
(眼科、超音波センター、看護部、放射線技術部、臨床検査技術部)  
(2018年4月)

病床数

兵庫県最多!



年間外来延べ患者数



入院延べ患者数



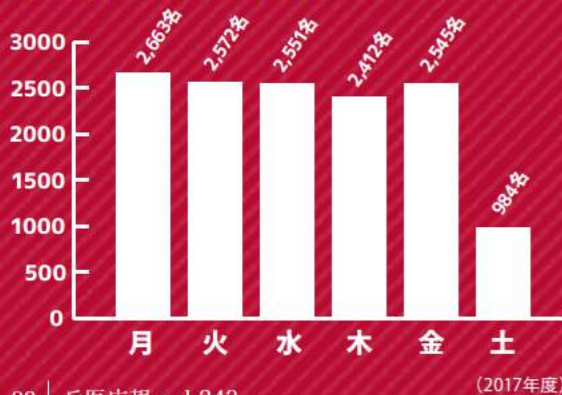
手術室



がんセンター  
 化学療法室  
 利用者数



曜日別平均外来患者数



脳動脈瘤治療数



網膜硝子体手術数



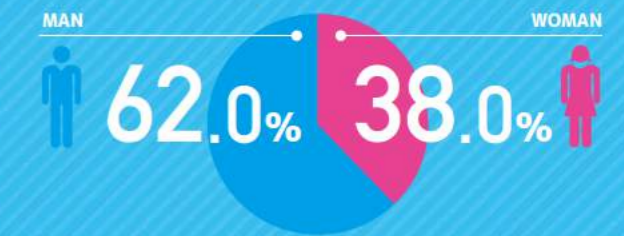
DATA ▶▶ 健康医学クリニック

(2017年度受診者アンケートより 有効回答数:729)

受診者年代



受診者性別



「施設・設備がよかった」と答えた受診者の割合



「次回も健康医学クリニックで受診を希望」と答えた受診者の割合



DATA ▶▶ ささやま医療センター

年間外来延べ患者数



年間入院延べ患者数



地元(丹波圏域)採用者数



リハビリセラピスト数



リハビリ実施件数



## CONTENTS

- 01 特集1  
数字で読み解く兵医
- 05 特集2  
新家理事長が「旭日重光章」を受章
- 07 NEWS & TOPICS
  - ・「認定臨床研究審査委員会」を設置
  - ・ささやま医療センター ヘリポート運用開始
  - ・「第3次中期事業計画説明会」を開催
  - ・脳梗塞患者に対する血管内治療の有効性が判明
  - ・「アレルギー疾患医療拠点病院」に指定
  - ・在学生主催の「スポーツ大会」を開催
  - ・「平成30年度篤志解剖体納骨式」を執行
  - ・兵庫医科大学後援会「春季教員・保護者懇談会」を開催
  - ・「かんげノム医療連携病院」に指定
  - ・多大な支援をいただいた寄付者に感謝状と記念品を贈呈
  - ・「中学生のための模擬授業」を初開催
  - ・「来てみて体感!兵庫医療大学」を開催
  - ・「第18回 地域医療懇談会」を開催
  - ・篠山市と病院運営継続の基本協定を締結
  - ・高校生対象「薬剤師への道」を開催
  - ・「篠山ヘルスケアフォーラム」を初開催
  - ・特定行為を担える看護師を育成中
  - ・新たな病院棟の建設に向けて西宮キャンパスで解体工事を開始
- 13 各種報告  
2017年度(平成29年度)決算について
- 15 卒業生INTERVIEW  
「もじもじしている暇はない」被災地熊本に薬剤師がゆく  
田野病院 薬剤師 豊山 美琴さん(2014年卒)
- 17 HYO-i LAB -研究紹介-  
悪性中皮腫の早期発見へ 世界を舞台に臨床支える遺伝子研究を  
兵庫医科大学 遺伝学講座 講師 吉川 良恵
- 19 STUDENT INFORMATION  
授業CLOSE UP  
「共通講義」兵庫医科大学  
「物理療法学実習」兵庫医療大学  
課外活動REPORT  
「ソフィア医科大学から初の留学生受け入れ」兵庫医科大学  
「薬草PRプロジェクト活動」兵庫医療大学
- 21 チームの力  
～さまざまな「泌尿器がん」をチームで治療～  
泌尿器科×放射線科(兵庫医科大学病院)  
知ってる?兵庫医科大学  
過去と未来の架け橋となる「アーカイブズ室」
- 22 人事情報/大阪北部地震REPORT
- 23 表彰・受賞など/助成金交付状況
- 25 主な行事予定(8~10月)/募金状況

## 特集2 新家理事長が「旭日重光章」を受章



学校法人 兵庫医科大学の新家  
理事長が、平成30年 春の叙  
勲において「旭日重光章」を受章し  
ました。また、2018年5月8日に皇居  
で執り行われた重光章勲章伝達式  
では、全国の叙勲受章者を代表して、  
天皇陛下へ御礼を言上する大役を  
務めました。

### 受章の言葉

この度の「旭日重光章」受章は、言うまでもなく、私個人よりも学校法人兵庫医科大学全体の多年にわたる功績が、国によって高く評価された結果だと思っています。その叙勲の授与の式では、たまたま受賞者一同の代表として選ばれ天皇陛下に勲章授与の御礼を申し上げたあと、一同と共に陛下から慰労の有難いお言葉を頂戴いたしましたが、その慈愛に満ちたご尊顔に接している最中、心の内では本学の同志達が本学の発展のためにこれまで積み重ねてきた労苦の多くがこのお言葉によって報われたような思いが続いていました。

本学は、今年45周年を迎えたばかりの発展途上の医科大学ではありますが、毎年のように厳しい大学改革への精進を繰り返すことにより、「人間への奉仕、愛そして知」という本学の「建学の精神」を具現化する教育・研究・診療の3本柱を軸にして順調に成長して参りました。

その教育・研究面での優れた成果は、最近英国の権威ある教育情報誌で公開された「THE世界大学ランキング日本版2018」の“教育リソース”の分野で、本学医学部がわが国の国公私立全大学の中で第7位、私学では第1位に位置づけられていることで垣間見ることが出来ます。

そして、今春、新しい学舎、教育研究棟を完成させた後、診療面での充実度を上げるために新病院棟建設という大事業も始動させることになりました。

開設後20年間に亘って地域医療を支えてきた本学分院のささやま医療センターでも、超高齢社会に備えて、新しい地域包括ケアシステムの範と言うべき「篠山モデル」を先駆的に展開しつつあります。

他方、兵庫医科大学の兄弟校、兵庫医療大学では21世紀の医療とされている「チーム医療」を担う医師以外の医療専門職の育成に力を注ぎ、多くの優れた人材を輩出しているところと見られます。

又、本学は国際的な医学交流の一環として、北京中医药大学との連携のもとわが国唯一の中医薬孔子学院を開設、西洋医学と東洋医学の教育・研究・診療の三面での融合に取り組んでいるところであります。

したがって、この荣誉ある受章は、これら本学の各部門の功労に対するご褒美と申せましょう。

さて、この度の受章直後、幸運にも性善説で有名な孟子の72代目直系の方と出会う機会があり、その方から「天時不如地利、地利不如人和」という自筆の書をいただきました。これは、人が何かを為そうとする時、「天の時(運)よりも、地の利(環境)が大切である。しかし、その地の利よりも人の和(協力)がより重要である。」という孟子の言葉ですが、私には約2,300年前の中国の思想家からのお祝いの台詞のように思えました。今後もこの箴言を体し、陛下に言上した決意のとおり、世のため、人のために一層の精進を重ねていきたいと思っています。



勲章と勲記



## ～厚生労働大臣の認定を受けて～ 「認定臨床研究審査委員会」を設置

2018年3月30日、「兵庫医科大学 臨床研究審査委員会」が臨床研究法（2018年4月1日施行）に基づく厚生労働大臣の認定を受けました。  
これをもって、認定臨床研究審査委員会として、同法に規定する特定臨床研究および臨床研究について審査意見業務を行えることとなりました。  
なお、6月12日現在、全国で61機関が同認定を受けていますが、その中で私立の学校法人は14機関と限られた数の一校に、兵庫医科大学が名を連ねています。  
今後も、臨床研究に対する信頼の確保を一層図ることを通じて、保健衛生の向上に寄与していきます。



## ～ドクターヘリで迅速な対応が可能に～ ささやま医療センター ヘリポート運用開始

2018年4月1日より、ささやま医療センターではヘリポートの運用を開始しました。  
これまで、重篤な患者さんを受け入れ先の医療機関にドクターヘリで搬送する場合は、最も近い消防本部横の離発着場まで救急車で搬送していましたが、隣接地にヘリポートが整備されたことで迅速な対応が可能となりました。



上空から見たヘリポートの位置



## ～西宮・神戸・篠山 各キャンパスにて～ 「第3次中期事業計画説明会」を開催

第2次中期事業計画（2013年度～2017年度）での達成状況を踏まえ、各部門により組織された部会が中心となり議論を行うことで完成した「第3次中期事業計画（2018年度～2022年度）」が、3月23日の理事会にて承認されました。  
その内容について、本法人が次の5年間でどのような方向に向かっていこうとしているのかを全教職員に周知するため、西宮キャンパス（4月23日）、神戸キャンパス（4月24日）、篠山キャンパス（4月26日）の3キャンパスで説明会を開催し、5つの部会の各部長（理事）が基本コンセプト、戦略、施策等についての説明を行いました。  
今後、この計画に基づき、法人全体が一丸となって事業を進めてまいります。



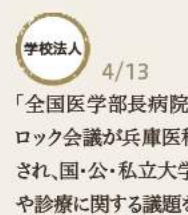
西宮キャンパスにて



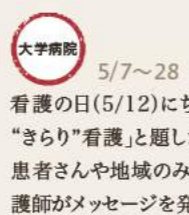
神戸キャンパスにて



篠山キャンパスにて



4/13  
「全国医学部長病院長会議」の近畿ブロック会議が兵庫医科大学主管で開催され、国・公・私立大学12校が教育研究や診療に関する議題を協議しました。



5/7～28  
看護の日（5/12）にちなみ、「私たちの“さらし”看護」と題したパネルを展示。患者さんや地域のみなさんなどへ、看護師がメッセージを発信しました。



## ～脳神経外科学 吉村主任教授および、臨床疫学 森本教授らによる研究発表～ 脳梗塞患者に対する血管内治療の有効性が判明

兵庫医科大学 脳神経外科学 吉村 伸一主任教授および臨床疫学 森本 剛教授の研究グループは、全国46施設による多施設登録研究にて、脳梗塞患者さんに血管内治療を実施することで、発症3ヵ月後の回復率が4割以上高くなる可能性があることを明らかにし、2018年4月25日に記者会見を行いました。

脳主幹動脈が閉塞した脳梗塞患者さんへの血管内治療の有効性は以前にも報告されていましたが、有効性が確認されたのは限定的な患者さんで、しかも日本人のデータはありませんでした。

そこで、発症から24時間以内に入院した脳主幹動脈による脳梗塞患者さん2,420名について、血管内治療やtPA治療、その他の外科的・内科的治療と発症から3ヵ月後の予後（自立度や生死）を評価し、統計学的な処理を行うことで血管内治療の有効性を分析しました。

その結果、脳主幹動脈が閉塞した脳梗塞患者さんに対し、血管内治療を実施することで、過去の研究で対象となっていない重症例や閉塞部位のある患者を含め、幅広い患者さんにおいて発症3ヵ月後に回復率が4割以上高く、死亡率も2割以上低下する可能性があることが判明（図）しました。



4月25日に実施した記者会見

	指標	RESCUE Japan 2
血管内治療を受けない場合	3ヵ月後に麻痺が残る (mRS 3-6) 割合	69%
	3ヵ月後の死亡率	13.6%
	3日以内に脳内出血(軽微も含む)が発症する割合	18.8%
	3ヵ月以内に脳梗塞が再発する割合	4.6%
血管内治療を行う場合	3ヵ月後に障害が残らない (mRS 0-2) の可能性	1.44倍
	3ヵ月後に死亡する可能性	0.75倍
	3日以内に脳内出血(軽微も含む)が発症する可能性	1.97倍
	3ヵ月以内に脳梗塞が再発する可能性	0.54倍

図

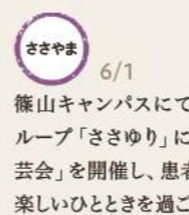


## ～兵庫県内のアレルギー診療の充実に向けて～ 「アレルギー疾患医療拠点病院」に指定

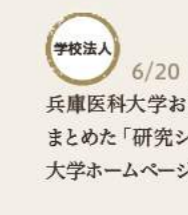
兵庫医科大学病院は、2018年2月1日、兵庫県より「兵庫県アレルギー疾患医療拠点病院」に指定されました。  
「アレルギー疾患医療拠点病院」とは、2014年6月に成立したアレルギー疾患対策基本法で掲げられている「アレルギー疾患を有する者が、その居住する地域にかかわらず、等しく科学的知見に基づく適切なアレルギー疾患に係る医療を受けることができるようにすること」をめざして、国が各都道府県に指定するよう求めたものです。  
今回指定を受けた病院は4機関ですが、国公立以外の病院は兵庫医科大学病院のみになります。この指定を受け、今後一層、県内アレルギー診療の充実に向けて多職種と連携のうえ取り組んでいきます。

**アレルギー疾患医療拠点病院の主な役割**

- ・診断が困難な症例や重症及び難治性アレルギー疾患患者に対し、関係する複数の診療科が連携し、診断、治療、管理を行うこと
- ・患者やその家族、地域住民に対するアレルギー疾患に関する適切な情報の提供
- ・医療従事者の知識や技能の向上に資する研修や学校、児童福祉施設等の教職員等に対する講習への積極的な関与
- ・学校、児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対応への助言、支援



6/1  
篠山キャンパスにて、ボランティアグループ「ささゆり」による「さなぶり演芸会」を開催し、患者さんやご家族に楽しいひとときを過ごして頂きました。



6/20  
兵庫医科大学および兵庫医療大学の発展性の高い研究をまとめた「研究シーズ集2018」を発行。同内容を兵庫医科大学ホームページに公開しました。



医療大 イベント  
 ～勉強の合間にほっと一息～  
 在學生主催の「スポーツ大会」を開催

2018年5月16日、在學生がメンバーとなって活躍する大学行事実行委員会主催の「スポーツ大会」を、兵庫医療大学 アリーナにて開催しました。本大会は學生主体で毎年運営している恒例行事です。



全力でドッジボール



チームワーク抜群!

開始時間が講義終了後の19時からという遅い時間であったにも係らず、今年も多く在學生が参加。10名程度で編成されたチームで、ドッジボールとインディアカという競技で対抗戦を行い、優勝を争いました。参加した學生は、競技前に円陣を組んだり、観客として大きな歓声を上げたりと楽しんでいました。

医療大 イベント  
 兵庫医科大学後援会  
 「春季教員・保護者懇談会」を開催

2018年6月2日、教育研究棟で兵庫医科大学後援会「春季教員・保護者懇談会」を開催し、92名の保護者にお集まりいただきました。懇談会では、長谷川 誠紀 学生部長が「ふるさとで医療を行う」と題して講演しました。



多くの保護者が訪れた懇談会



懇親会にて教員と交流

教育研究棟竣工後初めての後援会行事であったため、保護者の方々に新しい校舎をご覧いただけたほか、懇談会後には學生食堂で懇親会を催し、教員と保護者の方々の交流が深まり、盛会のうちに終了しました。

医科大 イベント  
 「平成30年度篤志解剖体納骨式」を執行

2018年5月19日、神戸市東灘区にある住吉霊園にて、「平成30年度篤志解剖体納骨式」が執り行われました。



野口学長、解剖学講座の教員、技術員および教学課職員が参列し、僧侶による法要を行った後、今年度の納骨対象となる16柱のご遺骨を住吉霊園の本學慰霊碑に合葬しました。



慰霊碑前にて合葬

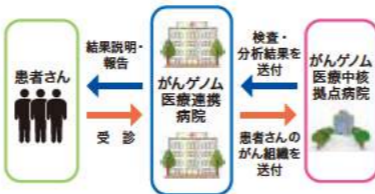
大学病院 お知らせ  
 ～がん患者さんのよりよい治療選択へ～  
 「がんゲノム医療連携病院」に指定

兵庫医科大学病院は、2018年4月1日、厚生労働省から「がんゲノム医療連携病院」に指定されました。

これは、100種類以上の遺伝子を一度に調べ、変異を突き止める遺伝子一括検査とその分析を拠点病院と連携して実施することで、結果に基づいてそれぞれに適した治療薬の選定を行う病院が指定されるものです。

今回、「がんゲノム医療中核拠点病院」として指定を受けた大阪大学医学部附属病院の連携病院として、兵庫医科大学病院が指定を受けたことで、拠点病院の協力のもと、患者さんの遺伝情報に基づき個々に最適な治療方針を決めることが可能となりました。

がんゲノム医療体制イメージ



学校法人 お知らせ  
 多大な支援をいただいた寄付者に感謝状と記念品を贈呈

2018年6月11日、新家理事長と太城副理事長がTOA株式会社の本社(神戸市中央区)を訪問し、同社の井谷 憲次取締役会長が教育・研究・診療に対する温かいご理解のもと、学校法人兵庫医科大学に多数の株式を寄付して下さったことに深く感謝の意を表すとともに、感謝状と記念品を贈呈しました。

その後、井谷会長と新家理事長は「教育の重要性」や「私立大学の経営」などについて意見を交換。基金の名称に井谷会長のお名前を使用※させて頂いたことについても快くご了承いただきました。

※名称は「兵庫医科大学 井谷教育振興基金」を予定



感謝状を受け取られた井谷取締役会長(写真左)と記念撮影

医科大 イベント  
 ～早期から医師をめざす生徒のために～  
 「中学生のための模擬授業」を初開催

2018年6月3日に、「中学生のための模擬授業—ようこそ医科大学へ—」を開催しました。本イベントは医学部に興味を持っている中学生に、大学の医学部の授業を体験してもらう初めての企画で、30名募集のところ100名を超える応募がありました。

午前中、参加者は緊張しながら初めてのTBL(Team Based Learning)に一生懸命取り組みました。お昼休みは、教育研究棟の學生食堂にて全員で楽しくランチを体験。午後からは、自然科学実習「水の硬度をはかるう!」で実習室での実験に積極的に参加し、医学部の一日を満喫していただきました。



自然科学実習体験



TBL 体験

医療大 イベント  
 ～全学部対象のオープンキャンパスを6月に初実施～  
 「来てみて体感!兵庫医療大学」を開催

2018年6月10日、兵庫医科大学にてオープンキャンパスを開催しました。全学部対象で6月にオープンキャンパスを実施するのは初めてでしたが、高校生331名、保護者約150名の参加があり、大盛況のイベントとなりました。

メインイベントの講演「高校での学びが医療を支える!?～医療現場でこんなに役立つ受験勉強～」では、各学部の教員がそれぞれ実例を交えながら、高校での勉強がどのように大学での学びや医療現場で役に立つのかを紹介。参加した高校生は「受験勉強に対するモチベーションがあがった」と改めて高校での学びの重要性を感じていました。



学部学科コーナー



メインイベントの講演



學生スタッフによるオープニングガイダンス

学校法人 6/20～21  
 模擬患者さんの協力によるシミュレーションを実施。多職種でコミュニケーションを図りながら、安全・安楽な移動を考えました。



医療大 6/21  
 兵庫医科大学にて高校教員を対象に大学・入試説明会を実施。初めて在學生による大学説明を行いました。(兵庫医科大学は5/24と7/12に入試説明会を実施)



学校法人 6/23～24  
 2018年度幹部教員FDをスペースアルファ神戸にて開催。兵庫医科大学と兵庫医療大学の教員、計37名が参加しました。



医療大 6/23～24  
 学生のリーダーシップを養成することを目的としたリーダーズキャンプを実施。グループワークや討議、内容発表を行いました。





～病診・病病連携を深めるために～  
「第18回 地域医療懇談会」を開催

2018年6月16日午後4時から、ホテルヒューイット甲子園において「第18回 地域医療懇談会」を開催しました。本懇談会は、阪神圏域の医師会を中心に、地域の医療機関との病診・病病連携を深め、社会が求めるより良い医療環境の充実に努めるため、毎年開催しています。

I部の懇談会では、当院の看護部、呼吸器内科、放射線科よりそれぞれの部及び科の特色について発表を行い、II部の懇親会では、活発な意見交換が行われました。各医師会および各医療機関から医療関係者107名、兵庫医科大学病院関係者52名、合計159名の参加があり、盛会のうちに閉会しました。



～地域と医療をつなぐ7年協定～  
篠山市と病院運営継続の  
基本協定を締結

兵庫医科大学篠山病院\*の運営と整備に関して2008年に締結した基本協定から、2018年7月で10年が経過することにより、この度、ささやま医療センターの運営継続に関する新たな基本協定を篠山市と締結。2018年6月21日、兵庫県知事立会いのもと、篠山城大書院において、基本協定に関する調印式を厳かに執り行いました。

続いてささやま医療センターにて実施した懇親会では、井戸知事が「ささやまの医療を担うセンターが支え続ける 市民期待す」と詠まれました。 ※ささやま医療センターの前身

【出席者】兵庫県知事 井戸 敏三様、篠山市長 酒井 隆明様、学校法人兵庫医科大学 理事長 新家 荘平  
【主な協定内容】  
・締結期間は2018年7月から2025年7月までの7年間  
・医療のみではなく、医療・福祉、地域包括ケア、教育・研究を推進する内容を追加  
・従来の協定と同様に「産科、婦人科、小児科も含めた診療科目の存続と充実」を明記



篠山城大書院にて調印  
(左から、新家理事長、井戸知事、酒井市長)



ささやま医療センター正面玄関には  
ボランティアからの感謝横断幕



～病院と医療大が協力した進学イベント～  
高校生対象「薬剤師への道」を開催

2018年7月7日に兵庫医療大学薬学部と兵庫医科大学病院薬剤部との合同イベント「薬剤師への道」を開催し、23名の高校生とその保護者のみなさまに参加いただきました。

本イベントは、薬学部への進学に興味を持つ高校生を対象として毎年開催しています。「大学病院で職業について知り、大学で学びを体験する」をテーマに、大学病院の薬剤部見学や薬学部での実習体験などを実施しました。



病院の薬剤部を見学



大学の実習室で実験



～地域包括ケアシステムの早期実現に向けて～  
「篠山ヘルスケアフォーラム」を初開催

2018年7月5日、兵庫医科大学ささやま医療センターは、篠山市および篠山市医師会と共催で「篠山ヘルスケアフォーラム」を初めて開催しました。本イベントは、「地域包括ケア：篠山市の現状と日本のこれから」をテーマとして、篠山市民センター多目的ホールにおいて実施したものです。

地域包括ケアは、地域のすべての人がその人らしく暮らし続けられる地域を実現することをめざしており、一般市民の方をはじめ、行政・医療機関、教職員等、約100名の方が参加され、大盛況のうちに終了しました。



一般市民を含む約100名が来場



片山病院長による講演



特定行為を担える  
看護師を育成中

学校法人兵庫医科大学 医療育成研修センターは、看護師特定行為研修の指定研修機関となっています。2017年に研修を開始し、現在、第2期生が研修中です。

右の写真は、共通科目の臨床推論(医療面接)の演習と実習の一場面です。模擬患者さんの協力を得て、医療面接を行い、信頼関係の基礎やコミュニケーション技法、身体所見の的確な修得について実践し、ディスカッションをしています。

特定看護師の育成は厚生労働省の方針でもあるため、今後も力を注いでいきます。

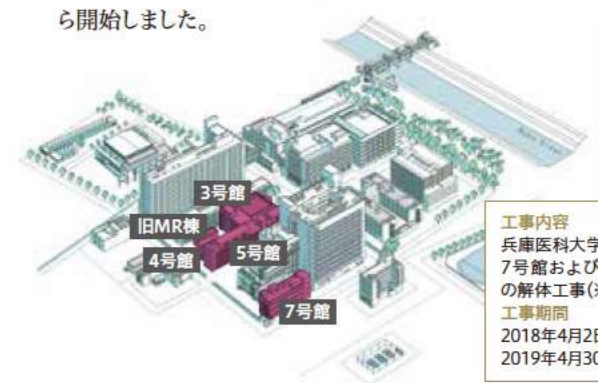


模擬患者さんの協力を得て  
面接のシミュレーションを実施



新たな病院棟の建設に  
向けて西宮キャンパスで  
解体工事を開始

本法人は、教育・研究・診療に関する施設・設備の充実および高度化を図るため、中長期的な敷地整備計画をまとめた「西宮キャンパスグランドデザイン」を2011年9月に策定しました。その計画に基づき、新病院棟の建設に向けた解体工事を2018年4月から開始しました。



工事内容  
兵庫医科大学 3・4・5・7号館および旧MR棟の解体工事(※左図)  
工事期間  
2018年4月2日から  
2019年4月30日(予定)



ベトナムから来日介護福祉について学ぶ篠山学園の在学学生が、ささやま医療センターにて定期的にアルバイトを行っています。



「第12回阪神沿線健康講座」を梅田のハービスENTで開催し、「加齢に伴う目の病気」をテーマにした講演を行い、95名の参加がありました。



女性医師のキャリア支援をテーマに、外部講師を招き講演会を行いました。参加した教職員は、熱心に外部講師の講演に耳を傾けました。



課外活動の功績を称えた「学生部長賞」の表彰が行われました。(受賞者：6年次 清水礼那さん、正木順さん、山根史子さん)

